

平成30年度 消防長「政策宣言」達成状況

消防長 五十嵐 晃

○ 平成30年度重要事業

事業名	防火対策の推進
目 標	<p>地域や消防関係団体と連携し、住宅用火災警報器の未設置世帯への設置と経年劣化した住宅用火災警報器の維持管理の周知に努めます。</p> <p>また、事業所の予防査察や立ち入り検査を強化するとともに消防訓練を行うことで消防との連携強化に努めます。</p>
年度末達成状況	<p>住宅用火災警報器設置の周知や事業所への予防査察を行ったところではありますが、平成30年度は、火災件数が前年に比べ大幅な増加となり、死者も発生しました。火災の多くは、工場・作業場からの出火であり、原因火災としては、施設の老朽化や維持管理によるものが多数を占めました。</p>
自己評価	<p>一般住宅からの火災も多く発生したことから、引き続き広報紙や関係機関を活用し、火災予防に努めるとともに、住宅用火災警報器の設置推進に加え、正しい設置指導を行います。</p> <p>工場・作業場については、施設の維持管理について指導してまいります。</p>

事業名	救急救命体制の充実
目 標	<p>救命率向上のため、口頭指導體制の強化を図るとともに指導救命士による救命士の教育訓練の充実を図ります。</p> <p>また、搬送医療機関との連携強化を図り、円滑な受け入れ態勢の構築に努めます。</p>
年度末達成状況	<p>専属通信員を1名増員し、口頭指導體制の強化に努め、病院との症例検討会や事後検証を行い連携強化に努めました。</p>
自己評価	<p>ドクターヘリとの連携も含めて救命率の向上が図られたと考えています。引き続き、搬送医療機関との連携強化を図り、救急活動のレベルアップに努めます。</p>

事業名	災害対応力の強化
目 標	<p>大規模災害への対応強化など消防体制の充実強化に向け、実践的な訓練や研修を行い、多種多様な災害に対応できる職員の育成に取り組みます。</p> <p>また、消防団員の確保についても若年層の加入を促進するとともに消防団活動の環境向上に努めます。</p>
年度末達成状況	<p>職員に対しては、計画通りの訓練を実施することができました。</p> <p>また、学生団員については、総員10人となり組織の充実を図ることができました。</p>

自己評価	若手職員の能力向上については、各種の訓練や現場経験を積む事により培われてきていると感じています。消防団員の確保については、学生消防団員や女性団員の更なる確保に努め、消防体制の充実強化に努めます。
------	---